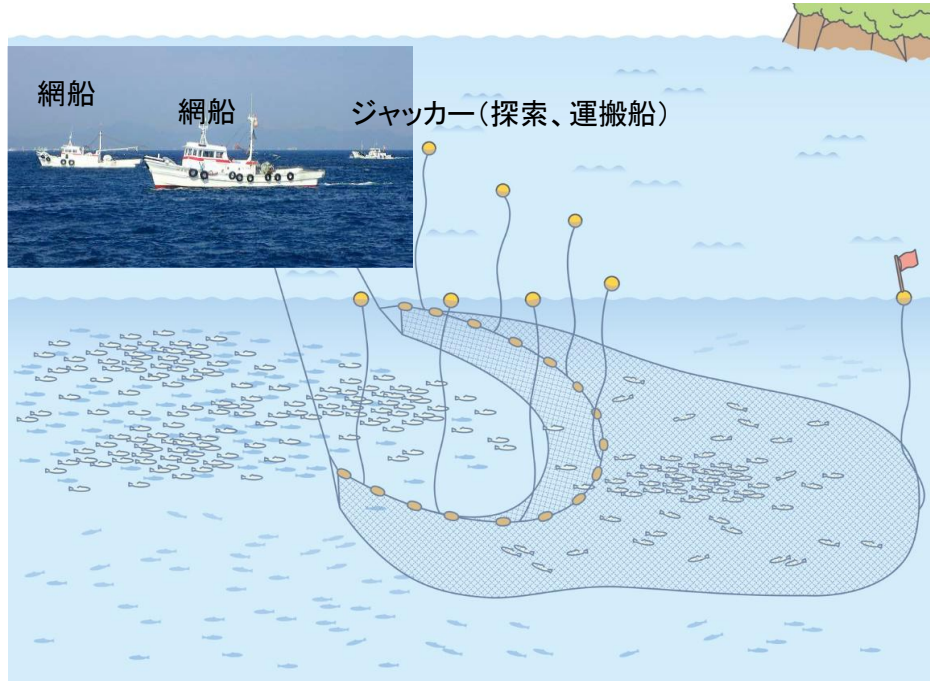


船びき網漁業のイメージ

シラスやイワシ類を狙って、海上を2隻の漁船で網をひき、効率的に漁獲する「船びき網」。1913年に徳島市津田の地びき網業者大和幾次郎氏により考案され、使用する網の形状が下着のバッチ(パッチ)に似て見えることから、「バッチ網(パッチ)網」と呼ばれます。



オープンキャンパスの作業内容(イメージ)



「とくしま漁業アカデミー」オープンキャンパス(雇用型コース)参加者募集！！

研修課題: 船びき網漁業体験

開催日時: 令和8年10月31日(土)午前6時から午前10時頃

研修場所: 和田島漁業協同組合(小松島市和田島町字西浜手10-33)及びその沖の漁場
(現地集合、現地解散)

参加費は無料